



エコライフのつどい (8/27) 報告



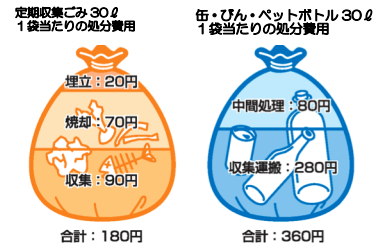
「ごみ減量とリユースびん」と題して、京都の「有限会社ひのでやエコライフ研究所」の鈴木靖文さんを招き、オンラインで生活クラブ連合会主催の学習会がありました。鈴木さんのお話の一部を紹介します。

* ごみのことを知る

大阪市の家庭ゴミ調査（令和1年度）では、家庭から出たごみの総量は38.7万tです。その内訳は紙類が35.69%（資源化可能な紙、新聞、雑誌などが19.51%）、生ごみ26.88%（食べ残し、手をつけてない食品が9.81%）、プラスチック類17.24%（うち容器プラスチック対象品目が11.12%）です。

* ごみの何が問題？

- ① ごみ処分場の問題です。有害物も含んでいて、いつまでも管理を続けなければなりません。
- ② 製造・利用での問題。ごみを出すということは限りある石油、金属、森林や生物の資源を使うということです。その過程でCO2や有害化学物質が出たりします。マイクロプラスチックの海洋汚染も大きな問題になっています。
- ③ 処理費用がかかるという問題。家庭ゴミ30ℓで180円。缶、びん、ペットボトル30ℓで360円の税金が使われます。



京都市推計

* リサイクルだけでいいの？


ごみ減らすのに、今リサイクルが中心ですがリサイクルだけでは問題は解決できません。リデュース（ごみが出るのを減らす。マイバックの持参など）やリユース（再使用。Rびん、ビールびんなど）のより環境負荷を減らせる方法が大切です。

クイズです。19回リユースした場合です。答えは右下をみてね。

* リユースで減らせる環境負荷

リサイクルするには高い温度が必要です。アルミで680℃、ガラスで1200～1400℃必要です。一方、リユースびんの洗浄は100℃くらいで充分です。また、リユースで減らせるのはエネルギー、CO2だけでなく採掘、原料製造での負荷（山を崩して金属などを取り出し、ゴミを出す。大気汚染。生体環境破壊など）を減らせます。

Qビールびんをリユースすることで減らせるエネルギーは、スマホ充電何回分？



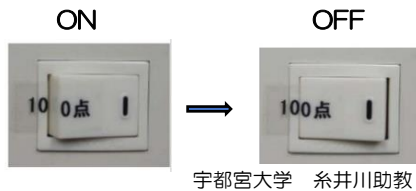
- 約2回分
- 約20回分
- 約200回分

選択(1-3)

* 省エネ・エコライフは「より豊かになるために」楽しく♪

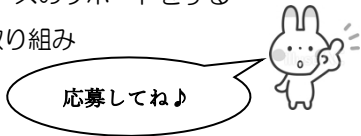
・スイッチの工夫

ONをOFFにすると・・・
0点が100点に！！



- ・使わなくなったものを別のものに作りかえて使うアップサイクル
- ・会社や学校単位での中古家電、家具などのリユースのサポートをする「京都発脱炭素ライフスタイル推進チーム」の取り組み

- ・生活クラブの消費材を利用する。
- ・量り売りのお店で買い物をする。



・家庭菜園で野菜を育て、生ごみはコンポストで堆肥化する・・・など、環境負荷を減らすためのユニークな取り組みや、暮らしの中でできることなどの紹介がありました。 *資料は「有限会社ひのでやエコライフ研究所」の資料より転用

♪ だれでもできる! ♪

空びん返して戻プラ

のびん回収率UP

キャンペーン

キャンペーン期間

12月2日(金)まで

REUSE

約200回分
スマホ充電